

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

WebCT活用レポート

通信教育課程をサポートするWebCTの活用



WebCTは授業以外の様々な所でも活用されています。今回は、WebCTの授業以外での活用方法を、宇都宮キャンパス学生支援グループ教務チームで通信教育課程を担当している通信係の方に伺います。

LT どのようにお使いになっているのでしょうか。

通信係 理工学部情報科学科 通信教育課程向けに「みんなの広場」という、通信教育課程の学生全員がアクセスできる共通コースを用意して、そこでサブテキストやレポート資料の配布、連絡事項などの配信をしています。学生にはWebCTにログインしたら一度はここにアクセスをしてもらうようにしています。学生からの問い合わせもWebCTで受け付けていますし、学生同士もWebCTのメールを使って情報共有をしているようです。というのは、学生からの問い合わせに応じている際に、学生間での情報共有がなされているように感じるからです。

私たちは、WebCTは通信教育課程の学生にとってキャンパスであり、教室であり、ホームルームでもあると考えています。今では、通信係と学生とのやりとりのほとんどにWebCTを使っており、WebCTなしでは通信教育課程の支援は成り立たないといっているほどです。

通信教育課程には通信制大学院も併せ現在260人近い学生がいます。最初の年は資料の配布等を郵送で行っていましたが、WebCTを使うようになった今では郵送はごく一部となりました。資料配付の準備も、発送の管理も簡単になりましたし、宛先不明で戻ってくることもなく、情報が学生のもとに届くま

での時間もだいぶ短縮されました。最初の年から比べるとさまざまな面でコストもかなり軽減されたと感じています。

LT 通信教育課程の学生は全員、WebCTをなんらかの形で使用して学習をしているのですね。学生の反応はいかがでしょうか。

通信係 通信教育課程は基本的に自宅での学習ですので、孤独な勉強になることが多いのですが、WebCTを通して学生同士がコミュニケーションをとることができているようです。学生が自主的に勉強会を企画したという話も聞いています。お互いに苦手な分野や科目の勉強をしているようで、今年はずでに大阪と東京の2箇所で開催されたようです。

また、学生からはWebCTを使用したメディア授業がもっと広がるといいとか、動画が増えるといいとの声を聞きます。メディア授業は勉強をやっている感じがして学習意欲がわくのだそうです。

LT 学生同士がコミュニケーションをとることができ、仲間を作れる場としてWebCTが活用されているのですね。今後はどのようなことをお考えでしょうか。

通信係 将来的には、より一層学生の利便性を高めるために、試験やスクーリングの申し込みもWebCTでできるようにしたいと考えています。アンケートなどにもWebCTを使いたいですね。

LT 情報のやりとりがスピーディにできるのはいいことですね。ありがとうございました。

お知らせ

◆ LTセミナー開催予定

☆7月「WebCT夏期講習会」

- ・日時:7月23日(金)
- (1)10:00~11:10 講習A「WebCT基礎」
- (2)11:15~12:00 特別講演
「情報化で変えるこれからの教育」
- (3)13:30~15:00 講習B「課題の実施」
- (4)15:30~17:00 講習C「テストの実施」
- ・会場:八王子キャンパス8号館5階851教室
- 詳細はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

☆9月「インストラクショナルデザイン入門(仮題)」

- ・日程:9月13日(月)
- ・会場:宇都宮キャンパス
- ・講師:川淵 明美 准教授
(放送大学 ICT活用・遠隔教育センター)
- 詳細はLTレターやウェブサイトでご連絡します。

◆ 教育研究関連イベント 参加者募集中

☆ICT利用による教育改善研究発表会

- ・日程:8月7日(土)
- ・参加申込締切:8月2日(月)
- ・場所:上智大学(四谷キャンパス)

☆教育改革ICT戦略大会

- ・日程:9月1日(水)~3日(金)
- ・参加申込締切:8月26日(木)
- ・場所:アルカディア市ヶ谷

上記2件の詳細は、私情協(<http://www.juce.jp/>)をご覧ください。また、各キャンパス内での締切にご注意ください。

☆情報教育シンポジウムSSS2010

- ・日程:8月18日(水)~20日(金)
- ・参加申込締切:7月24日(土)
- ・場所:群馬県伊香保温泉

詳細は、SSS2010ウェブサイト(<http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2010>)をご覧ください。

◆ 情報処理学会第1回CLE研究会 報告

情報処理学会「第1回教育学習支援情報システム研究会」通称CLE(Collaboration and Learning Environment)研究会が5月13日~14日に「オープンエデュケーションおよび一般」というテーマで開催されました。一般セッションの他、放送大学岡部洋一学長、MIT飯吉透シニア・ストラテジストによるCLE研究会設立記念セッションでは、オープンエデュケーションに関する熱い議論がありました。本学からは、LT開発室室員1名が参加しました。

◆ 国際大学戦略セミナー2010 報告

株式会社CSKシステムズ、Blackboard社共催による「国際大学戦略セミナー2010 "Building the 21st Century Campus" ~実践!大学の競争力強化の実現を目指して~」が6月11日に開催されました。1件の基調講演、2件の主催者講演、2件の実践事例紹介が行われました。本学からは、LT開発室室員2名が参加しました。

以上2件の報告の詳細は、LT開発室のウェブサイトをご覧ください。

インストラクショナルデザインで質の高い授業を設計



大学教育の質の向上が求められている昨今、その方法についてさまざまな視点での議論がなされています。個別の教員が質向上を図る手段の一つは、高い教育効果の期待できる授業となるように、事前にその設計をしっかりとすることです。質の高い授業の設計のための一つの手立てとして、インストラクショナルデザイン (ID) が知られています。

IDは、さまざまな教育学習活動を設計する際の基本的なコンセプトで、最終目標に向けて複数の小規模な教育学習活動 (インストラクション) を適切にデザイン・配置しましょうという考えです。このIDの考え方を導入した授業設計の具体的手法はいくつも提案されています。多くの手法に共通して見られる設計手順は以下の通りです。まず授業の最終的な学習目標を明確に設定します。次に、その最終目標に到達できるようにハードルの低い目標を段階的に設け、各目標への到達の確認方法を決めます。最後に、目標到達へ導く具体的な教育方略とそのための教材を開発するといった流れです。こうしたIDを導入した授業設計の取り組みは、本学においても既に行われており、過去のニュースレター (No.17 「WebCT活用授業レポート」) では、プログラミ

ングの授業における設計事例を紹介しました。

IDに基づいてしっかりとした授業設計をして、そのための教材を開発するにはそれなりの労力を要します。LT開発室では、授業設計へのIDの導入についてのコンサルテーションや、その後の教材開発の支援を随時受け付けております。お気軽にご相談ください。また、本号の「お知らせ」でもお伝えしていますが、9月のLTセミナーはIDの入門編を予定しており、IDについて基礎から詳しく学べる絶好のチャンスです。是非ご活用ください。

WebCT・ビデオライブラリ サービス停止のお知らせ

☆WebCTの定期保守作業のため、以下の期間中、WebCTサービスを停止します。

8月26日(木)10:00~28日(土)18:00 (予定)

9月14日(火)10:00~16日(木)18:00 (予定)

☆ビデオライブラリも以下の時間、停止します。

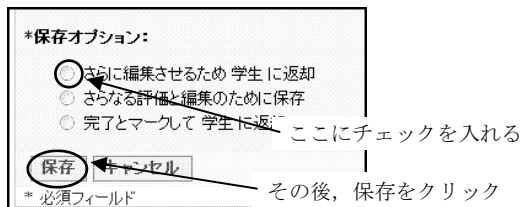
9月14日(火)10:00~17:00 (予定)

■ WebCT Tips ~ 課題の再提出を許可する方法 ~

学生に課題を再提出させる方法は2つあります。


1. 教員が個々の学生の提出物を返却する方法

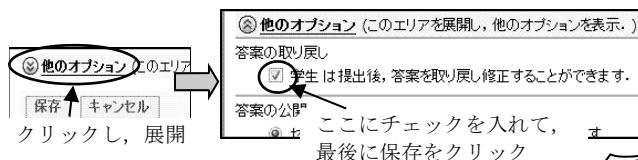
講師タブで課題提出箱の提出物を開きます。「保存オプション」の「さらに編集させるために学生に返却」にチェックを入れて保存します。



2. 学生が提出物を自分で取り戻せるように

課題提出箱を設定しておく方法

ビルドまたは講師タブで各課題の右にあるをクリックして「プロパティの編集」を選択します。プロパティの「他のオプション」をクリックして設定を展開し、「学生は提出後、答案を取り戻し修正することができます。」にチェックを入れて保存します。



編集後記 今年は梅雨前線の活動が活発で、各地で大雨が降っています。大雨は梅雨の終わりが近い証拠とニュースで言っていますが、本当でしょうか。梅雨が明ければ夏本番!憂鬱な天気からの解放と思いたいののですが、暑さを考えるといやになります。雨も暑さも嫌いですが、もうすぐ夏休みと思って日々頑張ります。(渡部)

